

必ず受けよう総合健診!!

今年も総合健診の時期になりました。総合健診は、みなさまもご存じの通り、結核・肺がん、胃腸病、前立腺がん検査等の健診を同時に受けて、総合的に体の健康状態を確認するものです。自分の健康をチェックできるこの機会を有効に活用しましょう。

<健診日程>

月日	健診会場	対象地区	送迎	受付時間
8月4日	七ヶ宿町活性化センター	関上	無し	午前6時30分 から 午前10時まで
8月5日	横川集落センター	横川・長老	マイクロバス	
8月6日	湯原コミュニティセンター	湯原・干蒲・稲子	マイクロバス	
8月7日	滑津公民館	滑津・峠田	マイクロバス	
8月8日	七ヶ宿町活性化センター	関下・瀬見原・矢立	マイクロバス(矢立)	

<受診上の注意>

- ※ 当日は、長老、干蒲、稲子、峠田、矢立それぞれの地区に、会場までのマイクロバスを運行します。運行時間については、各戸配布の案内通知をご参照ください。
- ※ 昨年から、従来の循環器健診は「特定健診」になり、皆さんそれぞれの医療保険の種類によって受診方法が違います。事前に配布される受診票やご案内等をよくお読みになり、お間違えのないようにお願いします。
国民健康保険の方と後期高齢者の方は保険証と町から配布された受診票、それ以外の医療保険被扶養者の方も、保険証と保険者から交付された受診券があれば個人負担金は町が負担します。当日、各会場に忘れずにお持ちください。
- ※ 結核・肺がん検診、胃腸病検診等はこれまでどおり、医療保険に関係なく対象年齢に達したどなたでも受診することができます。
- ※ 大腸がん検診の検体は、各会場の受付に提出してください。
- ※ 65歳以上の方は、これまでどおり全員に生活機能評価を行いますので、『基本チェックリスト』に記入の上、当日忘れずにご持参下さい。
- ※ ご不明な点は保健センターまでご相談ください。 電話 (37) 2331 担当 岩間、太田

住民と語る会を開催

6月22日の干蒲地区を皮切りに、6月30日までの7日間にわたって、各地区において住民と語る会が開催されました。町からはあらかじめ6つのテーマをお知らせし、住民の方の参加を呼びかけました。全体で110人の参加がありました。たくさんの方に参加いただきましてありがとうございます。

根添町有林売り払い問題裁判結果について

(報告概要) 町営住宅建設のため町有林を売り払い、本来の価格より安く売ったのではないかと損害賠償の訴えがあり、11回の口頭弁論を経て3月に原告の請求を棄却する判決があり、上告がなかつたため4月に確定しました。裁判所から契約発注事務については是正の意見がありました。

若林山問題解決について

(報告概要) 林業の振興等を図るため、若林山の立木を売り払いした事業について、契約内容の不履行による違法行為があり、この問題を解決する

ために、町をはじめとする関係者が協議して合意書をつくり署名し解決しました。

● 長年の苦労は理解している。しかしこの問題をいつまでも引きずって七ヶ宿町の前進はない。議会と一体となった町政執行に当たってもらいたい。

↓ 2度とこのようなことがないよううにしていきたいと思います。

地上デジタル放送移行見込みについて

(報告概要) 2011年7月でアナログ放送が終了します。本年10月から小原地区雨塚山中継所から試験電波が配信されます。町内の一部地域にも電波が届くので、その到達状況を確認して、各テレビ共聴組合と協議をしながら施設を整備していきます。

● 今後、説明会を開催するのかわりに、雨塚山からの電波が発信され、今後の方針が決まった段階で説明会を開催します。

ブロードバンド事業への取組について

(報告概要) 国の補正予算、経済対策事業に関連して事業に取り組み最後のチャンスということだった。高速大容量インターネット通信やテレビ電話などのサービスが受けられるようになります。ただし各種サービス

を受けするための手続きや経費は町民のみなさまの負担になります。

● ブロードバンド整備事業に個人負担金はあるのか。

↓ 今回は光回線の幹線整備のため、個人負担はありませんが、インターネットをする経費は個人負担となります。

● 3年前の調査では、利用したいという方は12〜13%にとどまった。高齢化が進んだ今、使う人がどれくらいいるのだろうか。

↓ 今後の定住化やインターネットビジネスの可能性を見据え、今回の補助事業で実施したいと考えています。

元気な地域づくり交付金事業について

(報告概要) 昨年からのスタートしている事業で、今年から関地区でも取組がスタートします。住民のみなさんが地域の課題解決やより良い地域づくりのための話し合いをしています。

● 七ヶ宿では、全職員が集落支援員の役割だが、他市町村では集落支援員を公募しているところもある。定住にもつながるのではないのか。

↓ 集落支援員制度についてはより良い事業推進のためのひとつの方法として検討します。

保育所運営について

(報告概要) 湯原保育所の児童数は、今年度は9名、来年度は6名の見込みで、H26年度には2名になる見込みです。今後、保護者や地域の方々と話し合いを持ちながらより良い保育環境を考えていきたい。決して強引に進めようとは考えていません。

● 昨年も突然話が出たが、話し合いを継続しているのか、説明資料などを提示する必要があるのではないのか。

↓ 今後語り合う場面を多くしたい。保護者や地域で話し合っても、最後に議会で否決されるということもあるのではないのか。

↓ 議会からも理解されるものと思っている。

● 保育所が関で、小学校が湯原という現象はいかなるものか、平行して検討していく時期だと思

↓ 湯原小学校の現状は複式での授業である。来年度から学校存続や複式解消のために山村留学に取り組みます。田舎で子供を育てるということ、インターやUターンにつながるばいと考えています。

● は住民の方からの意見や質問、↓は町からの説明です。